

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 消化器内科病棟における鎮静薬を使用した内視鏡検査・治療後の転倒・転落防止に対する取り組みの検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 横山裕子（看護部 A3病棟）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2026年5月25日～2026年10月31日

目的：鎮静薬を使用した内視鏡検査・治療後の転倒・転落防止に対する取り組みと今後の課題について検討する

方法：後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2024年4月から2026年3月までに当院に入院され、鎮静薬を使用した内視鏡検査・治療を行った患者さんの中で転倒・転落インシデント・アクシデントレポートの対象となった方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：転倒・転落インシデント・アクシデントレポートの件数や内容、診断名、治療内容、転帰等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

横山裕子、看護部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971